

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業			事業番号	010-044
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境事業管理課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成		
			有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	643 g (2019年度)		目標値	628 g (2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(12)つくる責任つかう責任		ターゲット	12.2,12.5		
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	617g(2022年度)		目標値	628g(2025年)		
2	関連計画			堺環境戦略、堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度			平成 29 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			水銀による環境の汚染の防止に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民				対象数	単位
						813,153	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	家庭から排出される水銀使用廃製品を適正に回収・処理（リサイクル）することにより、水銀による環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。また、水銀使用廃製品のリサイクルを推進する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	家庭から排出される蛍光管、乾電池、水銀体温計等の水銀使用廃製品について、国のガイドラインに基づき、分別回収（拠点回収）・適正処理（水銀回収・リサイクル）を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	収集運搬業者、処理（リサイクル）業者					
10	公民連携・協働事業	市内協力スーパー等での回収					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11 水銀使用廃製品等回収量	kg	目標値	119,000	121,000	117,000	111,000
		実績値	117,839	108,092		
		達成率	99%	89%		
		当該指標を選定した理由	水銀使用廃製品の回収は、水銀等の環境への排出を抑制し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため。			
		目標値の設定根拠・算出方法	令和4年度～令和6年度：堺市一般廃棄物処理実施計画、令和7年度：堺市一般廃棄物処理基本計画			
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
12 回収拠点（回収ボックス設置拠点・回収協力店）設置数	箇所	目標値	83	82	82	
		実績値	84	83		
		達成率	101%	101%		
		当該指標を選定した理由	市民の利便性を考慮しつつ、水銀使用廃製品の適正排出を促進するため。			
		目標値の設定根拠・算出方法	人口 1 万人あたりにつき 1 拠点設置			

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業	事業番号	010-044
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	37,134	25,333	26,820	24,158	25,878
財源	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	37,134	25,333	26,820	24,158	25,878
14	人件費（b）	4,635	15,435	15,385	15,920	15,660
15	年間経費（c）=（a）+（b）	41,769	40,768	42,205	40,078	41,538

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	手数料	決算	予算	24,021	24,021		決算	予算		
				25,631	25,631					
	普通旅費	決算	予算	55	55		決算	予算		
				136	136					
	消耗品費	決算	予算	46	46		決算	予算		
				54	54					
	自動車借上料	決算	予算	28	28		決算	予算		
				38	38					
	通信運搬費	決算	予算	8	8		決算	予算		
				19	19					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
①	水銀使用廃製品等回収量	kg	117,839
②	上記①にかかる年間経費	千円	38,259
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	325
備考（算出についての説明等）		対象品目の収集・処理・処分経費に係る経費に限定して計上している。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和5年4月から水銀ゼロ使用乾電池の回収方法を変更したため、水銀使用廃製品として回収した乾電池の量が10%削減された。 令和3年以降の製造・輸入が禁止された水銀血圧計と水銀体温計、LEDへの切り替えが進展している蛍光管については、引き続き排出量が減少する見込みである。 上記の理由により回収量が減少した影響で単位当たり経費は昨年より増加しているが、年間経費も同様に減少していくため、今後も回収方法・回収品目の見直しを適宜行い、効率的な事業実施を図る。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	水銀使用廃製品を適切に処理することは、水銀による環境の汚染の防止に関する法律及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられており、水銀使用廃製品の分別回収により、環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与することができた。 水銀使用廃製品の適正排出など、ごみの分別回収は市民のごみ減量化の意識向上につながると考えられるため、KPIの達成に寄与している。
----	--